

# 令和2年7月豪雨災害を踏まえた高齢者福祉施設の避難確保に関する検討会(第2回) 資料3

○ 高齢者福祉施設の避難確保に関する検討会の第2回目を開催し、避難の実効性を高める方策の「骨子」について議論を行った。令和3年3月に本検討会のとりまとめを行う予定。

## 検討会の開催概要

第1回検討会：令和2年10月7日(水)

第2回検討会：令和2年12月18日(金)

事務局：厚生労働省 老健局 高齢者支援課  
国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課、砂防計画課



検討会開催状況

### ■ 第1回検討会の主な意見

- ・ 訓練等を通じて避難計画を見直し実態に即した計画にすることが必要
- ・ 行政等が専門的な観点で避難計画を評価、助言することが必要
- ・ 避難計画の内容を施設職員等に周知しておくことが必要
- ・ 業務継続を考慮した避難先の選定が必要
- ・ 計画どおりに対応できない場合の事態認識が必要
- ・ 施設関係者が集まって議論する場をつくることが有効
- ・ 施設関係者が自ら判断できるように防災知識の習得が必要
- ・ 災害リスクの高い場所への施設の新規整備の抑制が必要 等

### ■ 第2回検討会の主な意見

- ・ 訓練に取り組みやすくするため、内容を分けた訓練方法の提示が必要
- ・ 災害経験やその対応記録をリアル感のある情報として共有することが有効
- ・ 自治体担当部局と施設関係者が一堂に会した情報共有の場づくりが重要
- ・ BCPの作成事例を広く共有し、BCPの作成を促すことが必要
- ・ 水災害はエリアが限定されることから施設同士の受け入れ支援は有効
- ・ 自治体の各部局の役割分担を明確化した上で窓口のワンストップ化を推奨
- ・ 施設や自治体の体制は厳しいため施策推進の優先順位付けが必要
- ・ 義務が増えると負担感が増すため施設を支援するという姿勢が重要 等

## 千寿園の避難に関する課題

### ■ 避難計画の内容や訓練の内容の適切性

- ・ 土砂災害に比べて洪水浸水のリスクへの認識が薄かった
- ・ 計画に定められていた避難先は雨天時の避難に適さない場所であった
- ・ 施設利用者を外部の避難先に誘導する訓練までは実施していなかった

### ■ 避難誘導の体制と避難に必要な設備等

- ・ 避難誘導に必要な要員の配置などの体制を早期に確立できなかった
- ・ 災害が切迫した時には避難誘導に必要な要員が参集できなかった
- ・ 階段を使用した施設の上階への避難誘導に労力と時間を要した

## 避難の実効性を高める方策の骨子

### ■ 避難計画や訓練に関する事項

- 災害の種類等に応じた避難計画の作成の徹底
  - ・ 災害の種類等に応じた適切な避難先の選定等
- 訓練で得られた知見の避難計画への反映
  - ・ 訓練結果の市町村との共有、避難計画の見直しの促進 等
- 避難計画の共有と理解の促進
  - ・ 家族等への避難計画の周知
  - ・ タイムラインを踏まえた計画の作成による避難行動の理解促進 等

### ■ 施設の設備や体制等に関する事項

- 業務継続が可能な避難先の確保
  - ・ 施設内での垂直避難のための設備等の設置
  - ・ 業務継続が可能な施設外の避難先の確保
- 避難誘導のための要員の確保
  - ・ 施設職員以外の協力体制の構築
- 施設内の適切な防災体制の確立
  - ・ 施設職員への防災知識の普及
- 災害リスクの低い地域への施設の誘導等
  - ・ 新規施設の災害リスクの低い地域への誘導や垂直避難設備等の装備
  - ・ 避難の実効性が困難な施設の移転検討